

SDGs未来都市 OKINAWA



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

沖縄県は持続可能な開発目標（SDGs）を実現しています。

令和7年度 第1回 SDGs専門部会

会議資料

令和7年10月6日、7日

会議次第

1 開 会

2 委員紹介

3 議事

(1) おきなわSDGsアクションの客観的評価・分析について

(関連資料)

「資料2」 評価分析コメントとりまとめ

「資料3」 国連SDGs報告書2025(概要)

(2) 沖縄SDGsサマリー(仮称)の骨子案について

(3) 意見交換

4 閉 会



SDGsに関するモニタリングの実施について

令和5年度からモニタリングを実施しており、「SDGs専門部会」、「SDGsアドバイザリーボード会議」の意見を収集し、令和5年度に引き続き昨年度も「令和6年度沖縄県SDGsモニタリング報告書」を「沖縄県SDGs推進本部」に報告後、公表したところ。

今年度のモニタリングの評価・分析については、これまでの3年間の進捗状況等をより客観的な評価・分析の手法により実施する。

＜モニタリングを実施する背景＞

1 国内の状況

- (1) 令和5年12月の国の持続可能な開発目標（SDGs）推進本部（本部長：内閣総理大臣）において、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が改定されたところ。
- (2) 同実施指針において、モニタリングに関連し、以下の内容が地方自治体に対し期待する取組として記述されている。
 - ①進捗を管理するガバナンス手法を確立すること。
 - ②情報発信と成果の共有としてSDGs達成に向けた取組を的確に測定すること。
 - ③ロードマップを設定すること。

2 沖縄県の状況

- (1) 令和3年9月の沖縄県SDGs推進本部において、「沖縄県SDGs実施指針」が決定されたところ。
- (2) 同実施指針において、モニタリングに関連し、以下の内容が位置づけられている。
 - ①取組状況等のモニタリング（進捗のフォローアップ）を実施
 - ②SDGs達成に向けた進捗状況等を、多くの人々の参画のもと透明性をもって点検し、フィードバックを図る（SDGs専門部会、SDGsアドバイザリーボードに役割を位置づけている）
- (3) 令和5年3月に開催された「沖縄県SDGs推進本部」において、令和5年度から毎年度、モニタリング報告書を同本部に報告することが確認されている。

3年間の進捗状況を総括した評価・分析の手法については、SDGs達成に向けた取り組みの加速化を図るため、専門部会の委員に客観的な視点から優先課題ごとに評価・分析コメントをいただき、事務局で整え、県庁内部や専門部会、アドバイザリーボード会議、推進本部に諮る。

評価・分析手法

- 「12の優先課題に対する指標の過去2年の進捗を踏まえた、客観的な評価及び県や県民に期待すること」についてコメントいただく
- 優先課題は、国連の「2030アジェンダ」に掲げる5つのP (People/人間、Prosperity/繁栄、Planet/地球、Peace/平和、Partnership/パートナーシップ) ごとに整理されているため、**専門部会の有識者に評価いただく**
- なお、評価に当たっては、部会ごとに意見を取りまとめるのではなく、**各有識者に個別に依頼する**

【専門部会ごとに評価・分析を依頼する優先課題】

people (人間) 専門部会	→ 優先課題 1~3
prosperity (繁栄) 専門部会	→ 優先課題 4~6
planet (地球) 専門部会	→ 優先課題 7
peace (平和) 専門部会	→ 優先課題 8~9
partnership (パートナーシップ) 専門部会	→ 優先課題 10~12

評価・分析プロセス

- 各専門部会の有識者ごとに個別に依頼し、いただいたコメント内容等を事務局にて取りまとめ
【評価観点】
 - ①評価できると考えられること（＝県内外に向けて積極的に発信すべき沖縄の良いところ）
 - ②課題があると考えられること（＝県民一丸となって行動・改善していくこと）
 - ③①、②を踏まえ、県や県民に期待すること
 - ④その他のご意見

STEP1

STEP2

STEP3



事務局にて整理

- STEP2で取りまとめた内容を専門部会・アドバイザリーボードに諮り、フィードバックをもとに掲載コメントを精緻化

- ・SDGs推進の目標について、一部の推進目標だけを取り上げた場合、偏りが生じてしまうため、評価観点①～③の中で、できるかぎりすべての推進目標に言及する。
- ・総評のコメントでは、「推進目標xについて～」という文言を入れることで、どの目標についてコメントしているか明確化する。
- ・優先課題①の指標1のように、そもそも経年で数値が取れていおらず、進捗状況についてコメントしようがないものもあるが、R7年度に指標が取れるものは、R7年度の指標を反映後、コメントを記載する。
- ・委員がモニタリング指標にないものや主観指標を引用しているケースであっても、推進目標の網羅性の観点から取り上げることが有益な場合は取り上げる。
- ・ただし、引用元の調査名と数字を正しく拾えているか、出典含めて確認し、出典や具体的な数字を乗せることを徹底する。
- ・根拠となるバックデータがないような経験値に基づく所感は、総評としては基本的には載せない方針とする。

第1章 はじめに

- ・本書の狙いや活用方法について

第2章 沖縄県のSDGsの取組

- ・「沖縄らしいSDGsの基本理念」、「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画との関係」、
「沖縄らしいSDGsの実現に向けた優先課題」等を整理

第3章 優先課題ごとの進捗状況および今後のアクション

- ・優先課題に紐づく指標状況及び解説、県民に期待するアクション、企業・団体の取組紹介

第4章 ステークホルダーの取組事例

- ・SDGs実施指針に記載されている「ステークホルダーに期待される役割」をベースに、
13の役割ごとに実際の取組事例を紹介

第5章 (コラム) 平和や文化に関する取り組み紹介

- ・沖縄県の平和や文化に関連する事業などを紹介

